

# 例会報告

第2764回例会報告議事録

日時 令和6年10月1日(火曜日)

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:15点鐘

国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」

ゲスト：米山記念奨学会 奨学生

ジュリアント・デビット君

米山記念奨学会 奨学生

スルナさん(茂原RC)

米山記念奨学会委員会 委員

森秀樹様(柏南RC)

ビジター：なし

S.A.A.：梶会員

## 会長挨拶

日暮会長



先日、28日にズームで財団セミナーがありました。会長幹事、来期の会長幹事、財団委員長の木村さんで視聴してきました。内容的には例年通りの150ドル、ポリオの寄付30ドルのお願いと、来期のセミナーで地区補助金の申請をしてもらいたいというお話がありました。

来週はラーニングセミナーがあります。たくさんの会員の皆様の出席をお願いいたします。

## 日暮会長より倉持会員へポール・ハリス・フェローの表彰授与



## 日暮会長より米山奨学生ジュリアント・デビット君に米山奨学金授与



### ジュリアント・デビット君より一言

いつもお世話になっており、ありがとうございます。今、就職活動をしています。これからも頑張っていきたいと思います。





10月がお誕生日の日暮会長、おめでとうございます。



### 日暮会長より

ありがとうございます。10月27日で61歳になります。ちょうど解散すると衆議院の選挙の日になるかもしれません。自分としては昨年、還暦を迎え、還暦が厄年だそうですが、その年に会長に決まって本当に厄年ってあるんだなということで、今年は後厄なので、これが終わればきっと厄が払えるのかなと思っています。

我が家では6月25日に孫が生まれまして、家内は今日も孫の顔を見に行っています。

本日はありがとうございます。



### 出席委員会報告

木村(政)委員長



26名(出席免除者含む)出席(全員で33名) 出席率78.78%  
業務による欠席：荒井会員、木村(隆)会員、藤本会員、前田会員、  
柳田会員、湯下会員、依田会員  
ZOOMによる出席：なし

### 幹事報告

寺井幹事



- ・来週10月8日(火)はラーニングセミナーです。  
集合は11時です。来られた順にお食事をしていただき、各クラブをお迎えする形になります。早めに来れる方は設営の準備のお手伝いもお願いいたします。来週はもう1階上の階になりますのでお間違いのないようご注意ください。
- ・エコマラソンのパンフレットが来ていますので、ご覧になりたい方は事務局の方に申し出てください。
- ・流山RCのクラブ活動計画書が届いています。ご覧になりたい方は事務局の方に申し出てください。
- ・本日、理事会がございまして理事の方は残っていただきますようお願いいたします。



皆様こんにちは。スルナと申します。私は去年、2023年から米山奨学生として茂原ロータリークラブに配属されました。ずっとお世話になっており、今日、卓話の機会を我孫子ロータリークラブでいただきまして本当にありがとうございます。今日はよろしく願いいたします。

今日の卓話のテーマは日本留学での学びと成長です。

自己紹介を兼ねて日本に来たきっかけ、学生生活や研究、ロータリーとの関わり、将来についてお話をしながら、日本留学で学んだことや成長していることについて少しお話させていただきたいと思います。

私の名前はスルナといいます。モンゴル語で「学ぶ」という意味です。モンゴル文字だと一文字だけです。95年生まれで29歳で、まだ若いと言えるかどうかよくわからないんですけど。

国籍は中国ですが、民族としてはモンゴル民族です。海外に出てむずかしいなと感じていることは、自分の出身について説明することです。

海外に出たのは日本への留学が初めてで、中国人と言ったら漢族だと思ってしまう人が多くて、中国の漢族の方達の習慣について聞かれることが多いです。中国出身のモンゴル人です、と自己紹介したらモンゴル国の人と間違えられて、すごくむずかしいと思うことがあります。

千葉大学人文公共学府に所属で、文化人類学専攻です。

出身の問題が複雑だから、この辺について話をしようと思います。

歴史的な背景から現在、モンゴル人は主にモンゴル国と中国とロシアという3つの大きな国に分布しています。

昭和女子大学のフフバートル教授も中国出身のモンゴル人です。フフバートル先生は論文で詳しくまとめています。モンゴル族という大きなカテゴリーの中に3つの大きな種族がそれぞれの国に分布されています。

私の場合はオイラートという種族で中国の甘肅省という所で生まれ育ちました。

モンゴル語は国と地域や種族によって話し言葉に違いが見られます。アクセント等の違いはありながら話は通じますが、大きな違いは今、文字の問題です。モンゴル人は現在、主に2種類の文字を使っています。字は違いますが読み方は同じです。

モンゴル国ではキリル文字を使っています。横書きは主にモンゴル国とロシアにいるモンゴル人が使い、伝統的な縦書きは主に中国側にいるモンゴル人が使っています。

伝統的なモンゴル文字の特徴は縦書きで、左から右へ、上から下へ読み進めます。

モンゴル人民共和国が独立後にソ連の影響が強まって、1942年に縦書きのモンゴル文字が廃止されて、ロシアのキリル文字でモンゴル語を表すようになりました。中国にいるモンゴル人は依然として縦書きのモンゴル文字を使い続けています。

モンゴル国で伝統的な縦書きのモンゴル語を復活させようと頑張っていて、学校教育等で普及が進められていますが、多くの方はキリル文字に馴染んでいるのでキリル文字の方が使われています。

日本に来てからは、他の国から来たモンゴル人の米山奨学生と交流することで、同じ民族の人達とお互いについて理解を深める機会が増えています。本当にありがたいです。

日本に来たきっかけは何かについてお話しします。

私は読書が趣味でアニメも大好きです。子どもの頃から日本のアニメや漫画に親しんでいたので、日本に対する興味が芽生えました。特に名探偵コナンが大好きで中学校の頃から見始めて今でも見続けています。

日本の町や地域、文化習慣などを紹介するシーンもあるので、私もその場所に行きたい、感じてみたいと思うようになりました。大学に入った後も、日本語専門ではありませんが日本

語の授業を傍聴したりして、そこで名古屋大学に留学していた先輩と出会い、日本と中国の教育にすごく違いがあることを知り、必ず海外に出て、海外の視点から国と民族のことを考えることが大切だと思って、大学4年生の時に日本の大学に行って勉強を続けようと決意し、卒業後、日本に渡りました。

今年で日本に来て7年目を迎えます。中国で大学卒業後、千葉大学文学部の研究生として学び、2022年の3月に修士課程を修了しました。そして同年4月から博士課程に進学して、現在、千葉大学人文公共学府で文化人類学を専攻しています。

文化人類学というのは何なのかというと、フィールドワークという方法論に基づいて現地の人々の暮らしや考え方について理解しようとする学問、というのは今、ネットで調べると出てくる答えです。

簡単にいうと、異なる文化、他者という立場から見て、相手の視点からはこの世界をどのように見ているのかを理解していこうと頑張っている学問です。

人類学と言っても、医療人類学、開発人類学、宗教人類学、経済人類学、言語人類学等々、ジャンルは多岐に渡っています。

文化人類学は総称でとても範囲が広く自由度も高い専門です。

イギリスの人類学者マリノフスキが1922年に「西太平洋の遠洋航海者」という本を発表してから、フィールドワークという方法で文化人類学を研究することが今でも主な調査手法になっています。

文化人類学に興味を持ったきっかけは鉋子での初めてのフィールド体験でした。当時、私は日本に来たばかりで日本語もあまり話せないし、専門知識も足りない状態で漁村の生活について漁村の人々にインタビューしながら、漁村の文化を学ぶことは大変むずかしいことでした。

でも一緒に行ったクラスメートのおかげで漁業船にも乗って、海上で日の出を見て感動したことが今でも忘れられないです。船酔いがひどかったのですが、本当に景色がきれいだなと思いつつ耐えていました。大漁旗の製作、漁村での食生活、魚をさばくことも体験しました。

漁村でのこういう体験が内陸で生まれ育った私にとって貴重な体験、思い出になりました。この体験を通じて、自分の生まれ育った牧畜社会を見つめ直したいと考えました。こういった人類学的なアプローチが人生を深めてくれるんだなと実感して文化人類学という分野を選びました。

今の研究はモンゴル牧畜民の家畜に対する民間療法というテーマでやっています。

研究で取り上げている民間療法というのは、モンゴル人の牧畜生活に根ざし代々受け継がれて来た家畜の健康管理に関する民族知識、家畜が病気や不調になった時にどう対応していたかという経験的な知識です。そんなこと意味あるのかと思う人もいますが、消えてしまう可能性が高い文化を記録することも大事で、これらを記録すると同時に、現地の言葉と文字でどう言っているのかを記録することは民族の言葉等に役に立つと思います。

民間で使われていた植物や治療の技法は新薬の開発や新しい治療にも役に立つと思います。

調査地は私の故郷にしました。中国の甘粛省の北西部に位置しています。敦煌から車で2時間位の場所です。標高は2000~5000メートルです。今でも移動式牧畜生活を行って、季節によって引っ越ししながら牧畜をやっています。羊、やぎ、ヤク、馬、ラクダを飼育しています。標高が高いので牛はいません。

フィールド調査の時に撮影した動画です。

夏と秋はゲルに住んでいますが、冬と春は固定家屋に住んでいます。

これは今年のフィールド調査の時に撮影したオポー祭りです。モンゴル人は基本チベット仏

教です。立てているのはオボーと言われる石で作られたものです。今年、雨が降るようにとか、雪害等の自然災害がないように願いをするためにやっている祭りです。

こういう研究と調査をしている私が将来何をしたいかという、博士号を日本でまず修得して研究を進める一方で教員として就職したいです。調査研究で得た知識の普及と継承に努力したいです。頑張ります。

また牧畜民の民間治療に関する研究成果を日本の獣医学に還元すべきなので、治癒学の実験分野でも積極的に研究発表に取り組んでいきたいと思っています。

中国出身のモンゴル族として日本に何年も留学しているということで、将来、中国、モンゴル、日本で共同研究を進める体制を築いていきたいと考えており、架け橋になれば幸いだと思っています。

最後はロータリーとの関わりについてです。

カウンセラーさんにはいつも本当にお世話になっており、迷惑をかけているな、恥ずかしいなど思う時がよくあります。本当に優しく、レポート等、厳しく日本語を直して下さることを本当に感謝しています。

ロータリーについて初めて知ったのは、里山の集いという活動に参加した時でした。大学時代から積極的にボランティア活動に参加していましたので、千葉大に来た時に先輩にその活動に誘っていただき、ロータリーについて知りました。

その時は日本語も本当に下手だったのですが、肌の色が違っても国が違っても、みんなすごく親切で笑顔で私の話も聞いてくれたので、奨学生になりたいと強く思いました。

今年度は米山奨学生としての2年目で、最後の年度となります。今後も学友会のメンバーとして活動していきたいと思っています。

米山奨学生になってから、奨学金のおかげで研究費と生活費に対する心配が減って、学業に専念することができています。里山の集いや、地区大会、バーベキュー大会、研修会等いろいろロータリーの活動がありますので、充実した時間を過ごして来ました。

さまざまな分野で活躍されている方々の話をうかがえ、カウンセラーの方やクラブの例会で社会人である人生の先輩達の話聞くことで接する機会も増えましたので、人生に対する理解と考えが豊かになり、視野が広がっているなど感じています。人と積極的に交流することは自分の専門の人類学としてもすごく重要なので、ロータリー米山奨学生としての経験も私にとってすごく大きな意味を持っています。

自分にはまだまだ足りないところがたくさんあるということにも気づかされて、ロータリーを通じて得た成長の機会や、いろんな国から来た民族の方々との出会いに心から感謝しています。

振り返ってみると、日本に留学した選択はいい選択だったなと自分で思っています。

本当に最後になりますが、感謝を表す恩返しとして米山奨学生の使命をもっと真剣に考えて国際親善、親睦のために貢献できるように頑張っていきたいです。

以上となります。どうかこれからもよろしくお願ひいたします。ご静聴ありがとうございました。

Q:先生になりたいとのことですが、日本でなりたいのですか。それとも国に帰ってなりたいのですか。

A:就職活動をモンゴル、中国、日本でしてみたいと思っています。国にこだわってないので、研究をより自由にできる場所を最優先して就職活動をしたいと思っています。



## 閉会の点鐘

日暮会長

スルナさん、卓話ありがとうございました。どこの先生になっても、いい先生になってくださると思います。頑張ってください。

これで10月第1例会を終了いたします。ありがとうございました。点鐘します。

## ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
日暮会長	卓話ありがとうございました。	1,000円
石原会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
小野会員	スルナ様 卓話ありがとうございました。	1,000円
梶会員	スルナさん 卓話ありがとうございます。	1,000円
上村(英)会員	スルナさん ありがとうございます。	1,000円
上村(文)会員	スルナさん 卓話ありがとうございます。	1,000円
川村会員	スルナさん 卓話ありがとうございます。	1,000円
木村(政)会員	スルナさん 卓話ありがとうございました。	1,000円
倉持会員	スルナさん お越しくださり ありがとうございます。	1,000円
古谷野会員	スルナさん 卓話ありがとうございました。感動しました。	1,000円
鈴木会員	モンゴルをはなれて頑張ってますね。また会いましょう!!	1,000円
関根会員	スルナさん 卓話ありがとうございました。	1,000円
瀧日会員	卓話ありがとう。	1,000円
寺井会員	スルナさん 卓話ありがとうございました。	1,000円
野田会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
村越会員	スルナさん 卓話ありがとうございました。	1,000円
山本会員	日暮会長お誕生日おめでとうございます。 スルナさん 卓話ありがとうございました。	1,000円
当日計		17,000円
今期累計		139,000円

今週の表紙「湖北サンバカーニバル」千葉県我孫子市湖北駅南口

1998年頃から始まり、今では湖北台商店街の伝統行事になっている、湖北台南口商店会主催のサンバのパレードです。本物の浅草のダンサーが来て、駅前から本通りの商店街を約700メートル踊りながら練り歩きます。毎年、カーニバル当日は相当な見物客で湖北駅南口は賑わいます。

ロータリーの友事務局 ホームページ [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) メールは [web@rotary-no-tomo.jp](mailto:web@rotary-no-tomo.jp)

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。